

氏名	濱口 豊太	部署	作業療法学科	職名	教授
研究分野	リハビリテーション学, 心身医学				
学位	博士 (医学)				
学歴	東北大学大学院医学系研究科医科学専攻心療内科学分野				
経歴	帝京大学医学部附属市原病院, 国際医療福祉大学, 新潟医療福祉大学				
所属学会 (役職)	日本行動医学会 (評議員), 日本作業療法研究学会 (会長), 全国リハビリテーション学校協会 (理事)				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	基礎作業学 第4版	単著	あり	医学書院、256p			2024.12
2	基礎運動学テキスト	共著	あり	南江堂、287p		藤縄 理, 濱口 豊太, 金村 尚彦, 阿南 雅也, 細田 多穂	2025.3
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Upper-Limb Functional Recovery in Chronic Stroke Patients after COVID-19- Interrupted Rehabilitation: An Observational Study	共著	あり	○	Journal of Clinical Medicine	Daigo Sakamoto, Toyohiro Hamaguchi , Yasuhide Nakayama, Takuya Hada, Masahiro Abo	2024.4
2	Seasonal changes in daily steps of community-dwelling older individuals with and without lifestyle-related diseases: a retrospective cohort study	共著	あり	○	Journal of Physical Therapy Science	Akihito Kubota, Toyohiro Hamaguchi	2024.5
3	Effectiveness of a Dual-Task Intervention Involving Exercise and Vocalized Cognitive Tasks.	共著	あり	○	Journal of Clinical Medicine	Masahiro Abo, Toyohiro Hamaguchi	2024.5
4	Feature analysis of joint motion in paralyzed and non-paralyzed upper limbs while reaching the occiput: A cross-sectional study in patients with mild hemiplegia	共著	あり	○	PLOS ONE	Daigo Sakamoto, Toyohiro Hamaguchi , Naohiko Kanemura, Takashi Yasojima, Keisuke Kubota, Ryota Suwabe, Yasuhide Nakayama, Masahiro Abo	2024.5
5	がん患者の前向きな生活を支援する心理・運動介入方略	共著	なし		メディカル・サイエンス・ダイジェスト	小泉 浩平, 濱口 豊太	2024.6
6	Verification of Criterion-Related Validity for Developing a Markerless Hand Tracking Device	共著	あり	○	Biomimetics	Ryota Suwabe, Takeshi Saito, Toyohiro Hamaguchi	2024.7
7	Impact of Shaking Exercise on Functional Recovery in Patients with Chronic Post-Stroke Upper Limb Impairment: A Multicenter, Open-Label, Quasi-Randomized Controlled Trial	共著	あり	○	Applied Sciences	Takuya Hada, Toyohiro Hamaguchi , Masahiro Abo	2024.7
8	Comparisons of Learning Effectiveness of Therapeutic Motion Techniques: Practicing with an Educational Hemiplegic Robot Arm versus Practicing with Other Students	共著	あり	○	Applied Sciences	Yuji Koike, Akihisa Okino, Yasuhiro Takanami, Toyohiro Hamaguchi	2024.9
9	脳卒中後麻痺した手指の評価革新	共著	なし		メディカル・サイエンス・ダイジェスト	齋藤 剛史, 濱口 豊太	2024.10

10	Action observation intervention using three-dimensional movies improves the usability of hands with distal radius fractures in daily life-A nonrandomized controlled trial in women	共著	あり	○	PLOS ONE	Kengo Usuki, Hiroaki Ueda, Toshiya Yamaguchi, Takako Suzuki, <u>Toyohiro Hamaguchi</u>	2024.10
11	Power-Assisted Scissors Reduce Adductor Pollicis Muscle Fatigue: A Comparative Study in Female College Students	共著	あり	○	Applied Sciences	Kohei Koizumi, Kumiko Sasao, Yoshihiro Senju, <u>Toyohiro Hamaguchi</u>	2024.12
12	COVID-19流行中におけるリハビリテーション専門職の抑うつと睡眠およびストレス発散に費やす時間との関係	共著	あり		行動医学研究	滝澤 宏和, 田山 淳, 中谷 直樹, <u>濱口 豊太</u>	2025.1
13	Effectiveness of Attentional Bias Modification Combined With Cognitive Behavioral Therapy in Reducing Relapse Risk and Cravings in Male Patients With Alcohol Use Disorder: A Quasi-Randomized Controlled Trial	共著	あり	○	Neuropsychopharmacology Reports	Yoshifumi Amano, Kohei Koizumi, Hirokazu Takizawa, Shota Tasaka, <u>Toyohiro Hamaguchi</u>	2025.2
14	Estimation of Upper Limb Motor Function and Its Use in Activities of Daily Living Based on the Performance Time Required for the Cylinder Transfer Task in Patients with Post-Stroke Mild Hemiparesis: A Cross-Sectional Study	共著	あり	○	Journal of Clinical Medicine	Daigo Sakamoto, <u>Toyohiro Hamaguchi</u> , Mina Yamamoto, Risa Aoki, Kenta Suzumura, Yasuhide Nakayama, Masahiro Abo	2025.2
15	Empowering Physical Functions in Older Women With Sarcopenia Through Aomori Gymnastics: A Prospective, Observational, Nested Case-Control Study in Aomori Prefecture	共著	あり	○	Cureus	Kentaro Yoshida, <u>Toyohiro Hamaguchi</u> , Kazuaki Masuda, Eiichi Tsuda, Mikio Hiura, Masahiro Abo	2025.3

(3) 学会発表					
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	脳卒中患者の麻痺側上肢機能回復のための反復性経頭蓋磁気刺激と作業療法の計画	単	第61回日本リハビリテーション医学会学術大会	○濱口 豊太	2024. 6
2	モーションキャプチャー技術が拓く脳卒中片麻痺患者の手指機能評価と回復過程の新展開	単	第18回日本作業療法研究学会学術大会	○濱口 豊太	2024. 11
3	練習量を規定した複合的上肢アプローチにより機能回復した重度麻痺の一例	共同	第61回日本リハビリテーション医学会学術大会	○國府田 剛, 小泉 浩平, 大木原 徹也, 水村 翔, 濱口 豊太, 高橋 秀寿	2024. 6
4	NEURO®における重症度別の回復量の推定	共同	第6回日本スティミュレーションセラピー学会学術大会, 大阪	○坂本 大悟、濱口 豊太、中山 恭秀	2024. 11
5	脳卒中後生活期の上肢機能障害に対するNEURO®と装具療法の併用効果－ケーススタディ	共同	第6回日本スティミュレーションセラピー学会学術大会, 大阪	○大瀧直人、濱口 豊太	2024. 11
6	筋電図解析を用いたレッグエクササイズ装置『あしたまご』による下肢運動中の運動負荷量の検証	共同	関東甲信越ブロック理学療法士学会、幕張	○久保田 圭祐, 山岸 克也, 松本 宏行, 田口 孝行, 濱口 豊太, 金村 尚彦	2024. 10
7	ストレッチが過敏性腸症候群有症状者の脳波に与える影響－経過報告－	共同	第31回日本行動医学会学術大会, 東京	○安川 徹, 山里 優輔, 町田 規憲, 田野 邊果穂, 濱口 豊太, 田山 淳	2024. 10

8	調理練習と活動量計によるフィードバックによって退院後の活動性が改善した高齢女性頸椎性脊髄症患者の作業療法	共同	第33回埼玉県作業療学会、所沢市	○大森 広人, 薄木 健吾, 関根 典子, 濱口 豊太	2024.7
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)		消化管知覚過敏を軽減させるニューラルフィードバック練習装置の開発	研究代表者	2019.4～2025.3
2	文部科学省 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)		ニューラルフィードバックによる脳腸相関異常を制御する装置開発とその練習効果の検証	研究代表者	2022.4～2025.3
3	文部科学省 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)		最適運動軌道と脳活動：目標の明示化による練習効果	研究分担者	2020.4～2025.3
4	文部科学省 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)		手指運動画像から筋緊張と麻痺の重症度を推定するアプリケーションの開発	研究分担者	2021.4～2025.3
5	文部科学省 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)		IBS 用 eHealth システムでの学習が食改善を介して症状軽減に及ぼす効果	研究分担者	2024.4～2027.3
6	文部科学省 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)		画像認識による手指運動麻痺に対する反復運動再現性の評価アプリケーションの開発	研究分担者	2024.4～2027.3
7	文部科学省 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)		脳卒中片麻痺を回復させるための経頭蓋磁気刺激後に実施される作業療法計画の最適化	研究分担者	2024.4～2027.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	リハビリテーション基盤実践学特論	○	3	リハビリテーションの基礎研究から実証研究までの階層化された研究論文を紹介し、研究知見の社会実装に至る手続きを解説した。	
2	行動神経作業療法学特論	○	15	脳卒中片麻痺上肢のニューロモデュレーションを促す運動療法、作業療法、経頭蓋磁気刺激法について最新の研究成果を解説した。	
3	心身機能作業療法論	○	15	脳波周波数解析による消化器心身症の特徴量を分類して解析する機械学習方法について解説した。	
4	機能支援系作業療法論	○	15	上肢運動療法技能を練習または技能測定するアームロボットの開発とその成果について解説した。	
5	リハビリテーション教育学Ⅰ	○	2	理学療法士と作業療法士の養成施設における指定規則に基づく教育について解説した。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	総合作業療法演習	○	30	国家試験問題を難易水準とした作業療法の臨床知について講義した。	
2	リハビリテーション学演習（行動神経作業療法学）	○	30	臨床で行われる脳卒中片麻痺上肢のニューロモデュレーションを促す経頭蓋磁気刺激実験と、作業療法計画立案を指導した。	
3	心身機能作業療法演習	○	30	受講生には注意バイアス修正法と、認知行動療法、脳波Decoded Neuro Feedbackの練習方法の実験計画を立案させた。	
4	機能支援系作業療法演習	○	30	動力支援装置とVR装置によるリハビリテーションの実験を指導した。	

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW実習		2024.8～10	1チームの指導
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2025.3	主指導 8名	副指導 0名
2	修士論文	2024.4～2025.3	主指導（指導教員） 4名	副指導（指導補助教員） 1名
3	博士論文	2024.4～2025.3	主指導（指導教員） 6名	副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	第4回理学療法士作業療法士専任教員養成講習会	全国リハビリテーション学校協会	第4回理学療法士作業療法士専任教員養成講習会の講師	2024.12
2	認知症研修	(株)アズ・ライフケア	「認知症の方への対応」に関する研修会の講師	2024.11
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	蕨市	介護保健運営協議会・会長		2020.4～
2	蕨市	高齢者福祉計画等策定懇談会・会長		2020.4～
3	埼玉県理容美容専門学校	評議員		2024.6～
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究開発センター（センター長）		2020.4～
2	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会（委員長）		2020.4～
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			